

第10回湯河原文学賞 『俳句の部』の受賞者が決定しました

地域政策課 内線232

『湯河原文学賞』は、くにきだ どっぽ なつめ そうせきしまぎきとう 国木田独歩、夏目漱石、島崎藤村など、過去に多くの文豪が湯河原町を訪れたことから、『四季彩のまち』にふさわしい文化の香り高い町を目指して、平成13年に創設し、今年で第10回を迎えました。

今年度の俳句の部では『駅』をテーマに作品を募集し、3,237句もの応募がありました。11月6日(土)には、湯河原観光会館で、俳人のまゆずみ 黛まどかさんが同席のもと、表彰式が行われました。たくさんのご応募ありがとうございました。



左から富田町長、松下美奈子さん、黛まどかさん

◆最優秀賞 『終着の 駅に潮の香 夏つばめ』
(松下 美奈子さん／熊本県)

◆優秀賞

一般の部	改札に <small>はは</small> 妣るやうな 帰省かな	<small>かせ かずまき</small> 加瀬 和正さん	湯河原町
	駅降りて 遍路の人と なりにけり	<small>おおつか まきひこ</small> 大塚 雅彦さん	埼玉県
高校生の部	浴衣着て いつもの駅と ちがう顔	<small>おおで やすか</small> 大出 寧香さん	大磯町
	改札を 抜ければ広がる 雪景色	<small>いざわ つかさ</small> 伊澤 司さん	平塚市
中学生の部	駅を出て 見上げた空に 流れ星	<small>あおき りさ</small> 青木 里沙さん	湯河原町
	改札を 抜けてダッシュで 夏の海	<small>つゆき はるか</small> 露木 春香さん	湯河原町
小学生の部	じいちゃんを まってるえきに 小鳥来る	<small>なかむら かりん</small> 中村 花梨さん	伊勢原市
	かい札で せみといっしょに 待ちぼうけ	<small>さとう まな</small> 佐藤 茉奈さん	湯河原町

その他、入選(20人)が選ばれました。

ありがとうございました 湯河原町への寄附

財政課 内線241・福祉課 内線313

11月7日(日) 湯河原聖徳太子奉賛会様

湯河原聖徳太子奉賛会様 (やまもとよしひさ 山本吉久会長) から、11月7日(日)に開催された聖徳太子堂建立50周年記念式典において、まちづくり基金に10万円のご寄附をいただきました。

町では、ご寄附の趣旨に沿い、観光、商工または産業の振興に関する事業に使わせていただきます。

11月10日(水) 湯河原温泉旅館協同組合おかみの会様

湯河原温泉旅館協同組合おかみの会様 (たかはしとも 高橋知代会長) から、10月8日(金)・9日(土)に開催されたチャリティーバザーの収益金の一部(3万円)を、まちづくり基金にご寄附いただきました。

高橋会長は、「町を元気にするために、まずは旅館が元気でありたい。」とおっしゃっていました。

町では、ご寄附の趣旨に沿い、観光、商工または産業の振興に関する事業に使わせていただきます。



11月12日(金) 社団法人小田原青色申告会様

社団法人小田原青色申告会様 (さわむらたけまさ 澤村恭正会長) から、11月12日(金)に開催された、青色申告制度創設・小田原青色申告会創立60周年記念式典において、適正な納税の促進や地域振興に関する事業に使ってもらいたいとの趣旨で、10万円のご寄附をいただきました。

町では、ご寄附の趣旨に沿い、湯河原温泉地域商品券の発行費用に使わせていただきます。

11月15日(月) 石井美晴様

宮上にお住まいの石井美晴様から、社会福祉基金と児童福祉のために、それぞれ50万円ずつ、合計100万円のご寄附をいただきました。

今回の石井さんのご寄附は、故ごとうちずこ 後藤千鶴子さんの遺志によるものです。

町では、ご寄附の趣旨に沿い、社会福祉と児童福祉の充実のために使わせていただきます。